

くまもと ひろし
言語学教授 熊本 裕

1948年 生

I. 略歴

- 1974年3月 東京大学文学部言語学専修課程卒業（文学士）
1974年4月 同 大学院人文科学研究科言語学専攻修士課程入学
1976年3月 同 修了（文学修士）
1976年4月 東京大学大学院人文科学研究科言語学専攻博士課程入学辞退
1976年4月 東京大学文学部助手（言語学研究室）
1976年8月 同 休職（海外研究のため）～79年8月（休職期限につき退職）
1976年9月 米国ペンシルヴェニア大学大学院東洋学科博士課程入学
1982年12月 同 修了（哲学博士）
1983年4月 四天王寺国際仏教大学文学部助教授～89年3月
1989年4月 東京大学文学部助教授（言語学）
1994年6月 同 教授
1995年4月 東京大学大学院人文社会系研究科教授（言語学）

II. 研究活動（1997年11月～1999年10月）

1. 概要と自己評価

サンクト・ペテルブルグ（ロシア）の東洋学研究所に所蔵される中央アジア出土写本の研究は、1993年から96年におよぶ「日本・ロシア共同による中央アジア出土中世イラン語文書の研究」（文部省科学研究費国際学術研究・共同研究：代表者 熊本）および京都大学を中心とする類似の研究が完了したあと、東京および京都の多数の研究者を含むより大規模な企画に発展した。現在は、東洋学研究所に存する出土写本を可能な限りマイクロフィルムの形で日本にもたらず計画が進行中で、その中でイラン語（特にコータン・サカ語）写本のマイクロフィルムの目録作成と焼き付けの整理を行っている。

2. 主要業績

1. R. E. Emmerick and P. O. Skjærvø, *Studies in the Vocabulary of Khotanese III* (contributed by G. Canevascini, R. E. Emmerick, H. Kumamoto, M. Maggi, N. Sims-Williams, and P. O. Skjærvø), (*Österreichische Akademie der Wissenschaften Philosophisch-historische Klasse, Sitzungsberichte*, 651. Band), Verlag der Österreichischen Akademie der Wissenschaften, Wien 1997. 担当部分[1997]

2. [翻訳] ニコラス・シムズ=ウィリアムズ, 「古代アフガニスタンにおける新発見 - ヒンドゥークシュ北部出土のバクトリア語文書を中心に - 」, 『Oriente (古代オリエント博物館情報誌)』, 第 16 号, 3-17 頁 [1997.12]
3. 「『表音文字』の背後にあるもの - 中央アジア・ブラーフミー文字の場合」, 『東京大学言語学論集』 17 号, 1998 年 9 月, 221-229 頁[1998.8]
4. “Textual Sources for Buddhism in Khotan”, John R. Mcrae and Jan Nattier ed., *Buddhism across Boundaries: Proceedings of the Conference at the Hsi Lai University 1993*, Taipei 1999 [in the press].

3. その他の研究活動

・学会発表

日本言語学会第 115 回大会(1997 年 10 月 11 日, 於京都大学)にて講演。「『表音文字』の背後にあるもの - 中央アジア・ブラーフミー文字の場合」と題して, 3 人の講演者によるリレー講演「言語学と文献研究」の一部をなすもの。

第 4 回ヨーロッパ・イラン学会(Societas Iranologica Europaea; 1999.9.6-10 Paris)にて, “Khotanese Documents in the Petrovsky Collection (St. Petersburg)”と題する研究発表。

・共同研究

三菱財団人文科学研究助成による「サンクト・ペテルブルグ所蔵内陸アジア出土文書の総合的研究」の協同研究員(継続中)。

文部省科学研究費基盤研究(A)「ロシア所蔵中央アジア古文献の総合的研究」(京都大学文学部)の協同研究員(継続中)。

III. 教育活動

1. 講義・演習題目

1998 年度

学部講義: 「比較言語学」

: 印度語印度文学特殊講義: 「イラン語文献学概説」(大学院と共通)。

学部演習: 「印欧語比較研究(古典アルメニア語入門)」(大学院と共通)

大学院演習: 「言語学演習」

2. その他

博士論文審査 3 件

修士論文・卒業論文は教官全員で審査にあっている。

IV. 主要学内行政

人文社会系研究科委員会代理委員。

V. 学外での主な活動

1998 年度

京都大学文学部非常勤講師（言語学）

その他，日本言語学会・日本オリエント学会・東方学会・Societas Iranologica Europaea (ヨーロッパイラン学会) 会員。